

50 あげ太郎(気圧・手巻リフター)

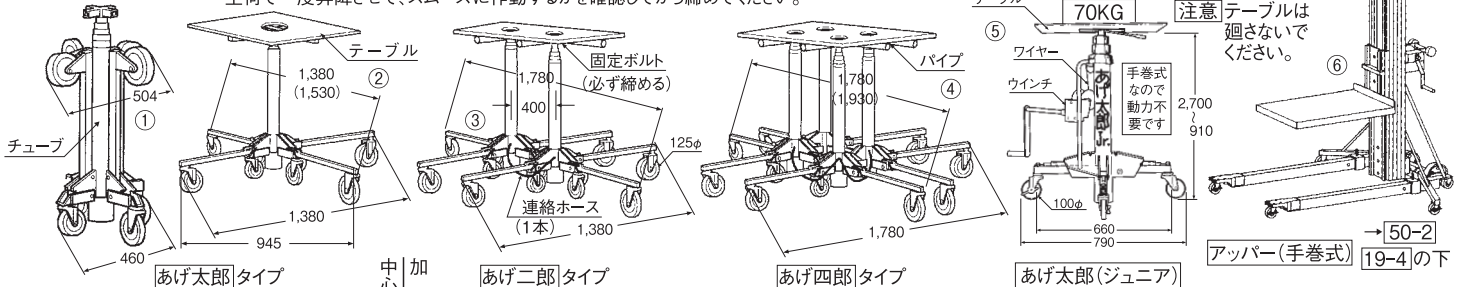
※エアアクションの上に乗っている状態になりますので微調整は可能ですが、以下のことに気を付けてください。

注意

- 強く押されると船橋の様に縮むため負荷と無負荷の変換時に急落や急伸やバウンドする事があります。これを圧縮反発と言います。
- 荷物は必ずテーブルの中央に載せてください。偏荷重になるとチューブが曲がってキズが付いたり、咬んでしまい上下しにくくなります。
- パイプはテーブル(ベニヤ板)の端に付いているパイプ通しを必ず通してからお使いください。テーブルがしゃくられて荷くずれを防ぎます。
- (兄)タイプのAG-156型・256型・456型で3,800ミリ以上に荷を揚げ場合は、チューブの径が先へ行くほど段々と細くなるので押し荷重はずつと小さくなり1/3の50KG・100KG・200KGになります。従って荷台が4,200ミリ(姉)まで上がればいいのでしたら(兄)はおすすめしません。
- 二部・四部タイプの組立時にはパイプの固定ボルト(→のある所)で二部は8本、四部は16本は初めから締め込まないでフリーにしておき、空荷で一度昇降させて、スムーズに作動するか確認してから締めてください。

まごずだはけ

A: 荷物はテーブルの中央に載せて
B: 傾斜地でのご使用禁止です。



機種選定

- 押し荷重(KG)
- テーブル高さ(ミリ)
- 動力源

：ペビコンか液化炭酸ガス

※二部・四部を使用時にはチューブ(シリンダー)が曲がらぬ様にテーブル下にある固定ボルトをパイプに付けてあるスタッカーに合わせてしっかり締めてチューブが平行になる様にしてください。

※取外し、解体作業で使用する場合に品物をテーブル(ベニヤ板)の上に落とすと、衝撃で接続ホースのジョイントが抜けます。



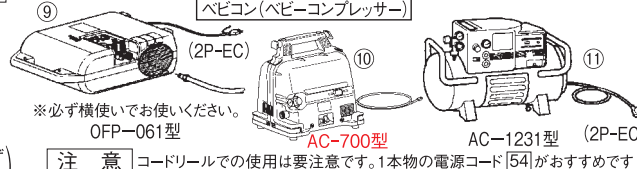
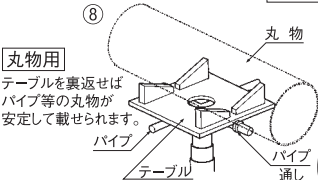
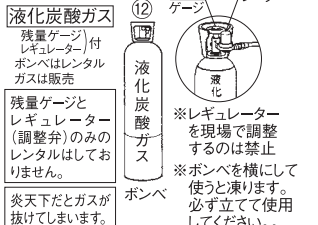
種類	呼称	型式	押し荷重(KG)	テーブル高さ(ミリ)		自重(KG)	テーブル寸法		商品コード	回数
				最低	最高		厚さ:15(ミリ)	商品		
本体 気圧式	あげ太郎	AG-138	150	930	3,800	29	400×600	05001	35	
	あげ太郎(弟)	AG-130	150	880	3,000	26	400×600	05003	43	
	あげ太郎(姉)	AG-142	150	980	4,200	31	400×600	05004	34	
	あげ太郎(兄)	AG-156	150	1,230	5,600	32	400×600	05006	29	
	あげ二郎(弟)	AG-230	300	880	3,000	53	800×1,200	05013	22	
	あげ二郎(姉)	AG-242	300	980	4,200	63	800×1,200	05014	17	
	あげ二郎(兄)	AG-256	300	1,230	5,600	65	800×1,200	05016	15	
	あげ四郎(弟)	AG-430	600	880	3,000	108	1,200×1,200	05023	11	
	あげ四郎(姉)	AG-442	600	980	4,200	128	1,200×1,200	05024	9	
	あげ四郎(兄)	AG-456	600	1,230	5,600	132	1,200×1,200	05026	7	
手巻式	あげ太郎(ジュニア)	SW-127	70	910	2,700	19	400×600	05031	-	

※押し荷重にはテーブルとパイプの重さも含む(太郎:7KG・二郎:19KG・四郎:31KG) (メーカー:三陽)

種類	商品名	型式	区分	用途タイプ	出力W(馬力)	自重(KG)	外形寸法(ミリ)		商品コード
							W(馬力)	自重(KG)	
動力源	ペビコン	OFP-061	レンタル	あげ太郎	600(0.8)	23	360×545×245	09001	
		AC-700	レンタル	あげ二郎	1,200(1.6)	12	400×432×290	09031	
		AC-1231	レンタル	あげ四郎	1,100(1.5)	32	630×378×250	09002	
		AC-4000	レンタル	あげ四郎	1,300(1.7)	18	326×335×547	09003	
	液化炭酸ガス	CO2-BON	レンタル	外面がグリーン塗装品	10	178φ×720H	05051		
		CO2-100	販売	満タン	7	-	05056		
		CO2-060	販売	半量品	4	-	05057		

※どの型式でも動力源は1台または1本でできますし、操作も1ヶ所です。
※液化炭酸ガス1本でAG-138型なら35回上下し、上昇時間は70秒~80秒です。

別売品 液化炭酸ガス：満タンと半量品があります。

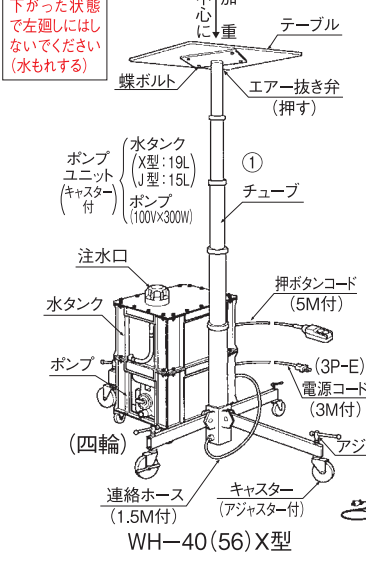


水圧式は気圧(エア)式のあげ太郎と違い圧縮反発がないので、そのぶん安全です。電源は100Vです。あげ太郎→50

51 水太郎(水圧リフター・アクアリフト)

- 水タンクの中に入っている水は外へ漏れませんので水を取替えずに連続使用が可能です。
- 出庫時の水タンクには少量の不凍液のみで、水は入れてありませんので、使用時に現場で入れて使用し、終了時に抜いてお返しください。
- WH-40X型で150KGを上まで上げるのに約110秒、WH-56X型で150KGだと約150秒(2分半)かかります。

下まで荷台が下がった状態で左廻しにはしないでください(水もれする)

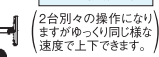


呼称	型式	押し荷重(KG)	テーブル高さ(ミリ)		自重(KG)		テーブル寸法	対辺/対角(ミリ)	商品コード	
			最低	最高	本体	ポンプユニット				
水太郎	WH-40X	75%位がおすすめ	150	1,015	4,000	23	19(水は別で19)	400×750	780/1,100	05101
水太郎(兄)	WH-56X	150	1,285	5,600	29	19(水は別で19)	400×750	1,050/1,480	05106	
水太郎(妹)	WH-28J	100	920	2,800	12	11(水は別で15)	320×550	900/900	05111	
水太郎(姉)	WH-35J	100	960	3,500	14	11(水は別で15)	320×550	900/900	05116	

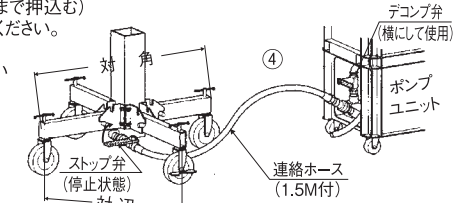
(メーカー:サンマックス)

- ### 使用方法
- 注水口から給水してください(ほぼ満タンにしてください)
 - 電源コードと押ボタンコードを接続する。
 - 接続ホースのカブラを本体側カブラに接続する(手前に引きながらカチッと音まで押込む)
 - デコンプレッサーを閉める(横にする)。通常は横にしてあるのでそのままにしておいてください。
 - 押ボタンで上下作業できます。
 - 始動時にはチューブを50センチ位まで上昇させながら、チューブから泡を含まない水が出てくるまでエア抜き弁(チューブ最上部内側)を押してください。

同時使用例



- 電源コード: 3M(2.5M) } 付属品
 押ボタンコード: 5M(2.5M) } ()内は
 接続ホース: 1.5M(1.5M) } 100KG(妹・姉)用



水圧式のメリット

- 気圧式の様な負荷と無負荷の変換時に圧縮反発が起きないので急落やバウンドをしません。
- 注水は必要ですが、炭酸ガスやペビコンは不要です。
- 作動途中での定位停止が可能です。
- 長物の押し作業なら同時使用も可能です(左図) 50 51

あげ太郎

水太郎